

「日本に例を見ない 学校と学校づくりを」



栄村教育委員会教育長(文・写真)
下 育 郎
(山ノ内町・長野市)

昨年度から始まった「みんなで学校を創ろう!」も10月末までに12回を迎えます。村の将来は教育の力によるところが大きいと考え

着任し、住民による今後の学校の在り方を話し合ってきました。選ばれた一部の人だけで今後の教育や学校統合について決めるのではなく、立場を問わず参加したい人が誰でも参加し、自由闊達に意見を戦わせ、村の教育を考えてもらいたいと考えました。

基本的には少人数によるワークショップをもとにこれまで話し合いを進めてきました。10月末で12回を数えますが、これまでに延べ300名以上の方々にご参加いただき、さまざまな事柄について話し合いを進めてまいりました。

また、実際の学校を視察したいという希望も上がったことから本年度予算化し、県内4校の中小一

貫校や義務教育学校の視察も計画し、多くの村民の皆さまにご参加いただきました。

◇

◇

8月末の定例教育委員会で施設一体型の義務教育学校の方向が適切であるとの決定がなされたため、9月の議会にて魅力ある学校づくりのための基本計画立案のための予算を提出し、認めていただきました。これから、本格的に今までの話し合いの内容が具体化していくことになり、3月末までには現在の栄小学校の改修工事の概要がほぼ決まっていくこととなります。

ここでも、普通の入札とは異なり、今回はプロポーザル方式(提案型)を採用し、どの業者が一番私たちの今までの考え方に近い提案をしてくれるか、今までの話し合いの内容が生かせるよう作成された評価票にてまずは参加される村民の皆さまに評価していただくこと考えました。その評価をもとに順位をつけると共に、更に住民保護者、教育委員、行政等の代表十数名から構成される選定委員会

でも順位をつけ、その合計点で落札業者を決めたいと考えました。この方式も大変珍しい方式です。

◇

◇

少人数であることや小さな村であることはネガティブに受け止められ、マイナス部分ばかり取り上げられますが、栄村はそんな少人数の特性を最大限生かし、大きな行政では到底できない手法を用い、学校改革を行おうと話し合いを進めています。村民が主役になり、今後の村の教育、村の在り方を本気で考えていける、そんな場が「みんなで学校を創ろう!」の「みんなで」の部分なのです。

この会では、最初に今後考え方がぶれていかないように新しい学校のスローガンを考えました。これには苦勞し、数回かかりましたが、さまざまな言葉から「自学共育」という言葉に決定しました。自ら学び、共に育っていきけるそんな強さと温かさといった願いが込められたものです。もちろんそこには自分の芯や志、思いやさまざまな人や物との関わり、ふるさと

への思いなども含まれています。

そしてそのために具体的にどのような授業を求めているのかについても、異年齢集団の学びや小中連携、個別最適化、学びの多様性やふるさと学習の推進など14もの項目が導き出され、その結果、それを具現化するために校舎一体型の義務教育学校が最適だと判断された経緯があります。

14の授業像の内容は、文科省が推し進めている授業改善のための最新の考え方がふんだんに盛り込まれています。令和8年度からの開校を目指しているところですので、引き続き注目いただければ幸いです。

このことは文科省の事業でも発表し、当村のHPから教育委員会のYouTubeでも視聴できますのでぜひご覧ください。

◇

◇

今、教育委員会ではこの他にも様々な取り組みをしています。昨年度中学生が考案し業者と共に開発したおひさまケチャップを活用した「おひさまラスク」も今まで

箱がなかったので、総務課と連携し箱作りを進めました。

これによりお土産品として購入しやすくなるばかりか、ふるさと納税品の返礼品としても多くの支援が見込まれます。今までの教育、委員会

の常識を覆す試みはまだまだ続きますし、学校も建物の改修が終わり、統合がスタートしてもその後の授業や地域との関わりが

果たして、話し合いで願ったものになっていくのかを常に検証していく必要があります。まだまだ教育委員会のチャレンジは進みますので、ご期待ください。

◇

◇

ふるさとを離れ、ふるさと思いを寄せていらつしやる東京栄村会の皆さまの思いはいつも本当にありがたく、心強く感じています。

そのふるさと思う気持ち、こんなことには負けてられね〜!と苦勞をしながらもいつかは、故郷に錦を飾れるよう頑張ろうと必死にしがき苦勞された、その心の強さはきっと「ふるさと」が原動力になつていたのではないでしょか。

そんなふるさとにぜひまた力をお貸しください。自分の懐かしいふるさととは、まだまだ捨てたもので

はなく、元気でうれい!と思える教育を今後も進めてまいりたいと思います。さまざまな面でご支援、ご理解をいただければ大変うれしく思います。

*栄小中学校の「施設一体型・義務教育学校」が決定され、全国でも例を見ない学校改革。少数生徒の特性を生かして「みんなで学校を創って」ください。(編集部)